

未来へ向かって飛翔のとき

11月23日開幕された「第1回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール in 八王子」は、多くの皆さまの暖かいご支援により、12月3日すばらしい成功でフィナーレを飾りました。才能溢れるチェリストたちの競演の舞台で、聴衆はその手から奏でられる熱い響きに言葉にならないほどの感動を心に残しました。このコンクールは未来に向かって、若く才能ある音楽家が集い、世界に羽ばたいていく場として、3年後の開催を予定しております。

コンクール入場者数	
期 間	合 計
第1予選 11/23 - 11/25	1082
第2予選 11/26 - 11/28	1122
本選 12/02	798
本選プロジェクト鑑賞 12/02	100
表彰式・披露演奏会 12/03	782
期間合計 11/23 - 12/03	3884



ガスパール・カサド展入場者数	
期 間	合 計
期間合計 11/22 - 12/03	1437

さよならパーティーでの集合写真。後列左から、ユンソン・ホン（韓国）、ダヴィド・レキロ（アメリカ）、藤井 泉（日本）。前列左から、ソンミン・カン（韓国）、マーサ・ボグダノヴィッチ（セルビア／フランス）。

コンクールを終えて

ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール
実行委員会 名誉会長

八王子市長 黒須 隆一

「第1回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール in 八王子」が華やかに、また、盛大に開催され、無事、閉幕を迎えることができました。これもひとえに、このコンクールを支えていただいた多くの方々のお陰であり、心からお礼を申しあげます。

私も時間の許す限り、11月23日からの予選、本選の熱のこもった演奏を聴かせていただきました。国際コンクールならではの張り詰めた空気の中で繰り広げられた熱演に、素直に感動いたしました。会場は熱気と割れんばかりの拍手に包まれ、その余韻は未だに私の心の中に残っております。世界各国から将来を嘱望された若きチェリスト達が集い、その卓越した技量

と豊かな表現力で満員の聴衆を魅了してくれました。まさに、若手チェリストの登竜門と呼ぶに相応しいコンクールであったと実感しております。-

栄えある第1回の入賞者の皆さんには、心よりお祝いを申しあげるとともに、世界を舞台にご活躍されることを大いに期待しております。

20世紀を代表するチェリスト・作曲家であるガスパール・カサドの名を冠した国際コンクールが、この八王子で多くの市民、企業の皆様に支えられて実現に至りました。八王子市民の熱意と底力に感服するとともに、市長として誇りに思っています。

最後になりますが、御協賛をいただいた皆様並びに運営にあたってこられた関係者に深く感謝申しあげます。そして、次回このコンクールが再び八王子で開催される日を、心待ちにしています。

各賞の受賞者	
第1位	ソンミン・カン（韓国）
第2位	マーサ・ボグダノヴィッチ（セルビア／フランス）
第3位	ユンソン・ホン（韓国）
第4位	ダヴィド・レキロ（アメリカ）
ガスパール・カサド作品最優秀演奏賞	ダヴィド・レキロ（アメリカ）
日本人作品最優秀演奏賞	藤井 泉（日本）
聴衆賞	マーサ・ボグダノヴィッチ（セルビア／フランス）
原智恵子賞（最優秀伴奏者）	小森谷裕子（日本）、斎木ユリ（日本）

※括弧内は国籍

一握りの種から

ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール
実行委員会 会長 杉本 敦子

ほんの一握りの市民の声から始まり、紆余曲折を経て今回、この大きな国際的イベントが成功したことは感無量です。多くの方々のご協力に心より感謝致します。五年前、故浜坂福夫氏（日本音楽家ユニオン創始者、ギタリスト）により、国際チェロ・コンクールが産声をあげて以来、「何故八王子でチェロ・コンクールなのか」と当初はよく聞かれました。根っこがない運動だとと言われ続けてきま

したが、私たちは文化の種を蒔いてきたつもりです。'02年9月、12人のチェロコンサート、翌年11月からチャペルコンサート、昨年の前年祭からは小・中学校を対象にしたアウトリーチコンサートも開催してきました。このようにチェロを市民生活に融合させる活動を通して、世界的な音楽コンクールになるよう皆の力を結集させてきました。今、まさに芽が出たばかりのところです。これからはこの芽を大切に育て、市民の皆さんと一緒に、今後もこの花を咲かせ続けたいものです。



ウェルカムパーティーの模様↑→



抽選会～ウェ
予選～本



←↑出場順抽選会の模様



第1位
ソンミン・カン



オリヴィエ・マロン



リー・リー



第3位
ユンソン・ホン



ペトラ・チャドヴァ



ニコライ・ギマレディノフ



エドヴァルダス・アルモナス



ヨンジン・キム



ジュヌヴィエーヴ・ギモン



ソンヒ・チョン



セバスチャン・ユールト

カルカムパーティー～ 選～さよならパーティー



結果発表後の様子



フョードル・アモソフ



渡邊方子



アレクサンドル・ポウズロフ



第2位・聴衆賞
マーヤ・ボグダノヴィッチ



第4位・ガスパール・カサド作品最優秀演奏賞
ダヴィド・レキロ



結果発表後の様子



日本人作品最優秀演奏賞
藤井 泉



客席の様子



審査結果発表後のソンミン・カン



表彰式の模様↑→



コンクール関連事業



ユーロードを飾るフラッグ



貴重な資料が多いカサド展



ちびっこたちの競演（ピッコリーナ・ピッコリーノ）



ボランティアからのメッセージ

●新制作座が、宿泊を気持ち良く受け入れてもらえたので、最適な環境で出演者は過ごすことができたと思う。使用できる電話がなかったのは不便だった。シフトの面でも様々な反省点はあったが、無事こなせて良かった。出場者送迎バスは正確な時間に運行され、演奏者の足として有効であった。12月3日の披露演奏会では、初めてチェリストたちの演奏を聴き、そのすばらしさに感動した。（出場者支援グループ・サブリーダー：清水峰夫）

●会場支援グループは、予選・本選の会場運営と、カサド展の受付け・案内業務を、45名がシフトを組んで担当した。熱演に興奮して予選会場から出てくるなり話しかけてくるお客様もあり、感想、問い合わせから苦情まで様々な声にも接して、「生

もの」であるコンクールの最前線を担う緊張と喜びの一端を体験できた。またコンクールに先行して行なわれたコンサートや、アウトリーチコンサートの支援には、通算51回、延べ254名が参加した。私たちにとってほとんど初めての「仕事」で迷惑をかけることも多かったが、振り返れば楽しい思い出となった。実行委員会には、今回のボランティア運営の問題点、業務への評価を踏まえ、より良い市民参加の形を作り上げていただきたい。（会場支援グループ・リーダー：青木勉）

●12月3日、さよならパーティも終わり、帰宅する車の中で思い出したのは、今までに会った人達の「笑顔」でした。ボランティア活動は初めての経験でしたが、育った八王子へ私なりの恩返しと思い参加しまし

た。活動全体の中で、私にとって一番良かったことは、卒業以来、立ち寄ることの無かった第十小学校でのアウトリーチコンサートの支援に参加し、後輩の子供達とふれ合えたことです。そこで生き生きとした瞳の子供達と出逢い、多くの人々の笑顔に会えたことが大変貴重な体験だと感動いたしました。カサド・コンクールのボランティアとは、都合を合わせ、力を合わせ、笑顔に出会う体験のステージだと私は思います。（広報宣伝グループ・サブリーダー：重盛光明）

●今回のコンクールは第1回目ということもあり、実行委員や私達ボランティアも手探りの状況でしたが、結果的には手作り感があり、温かみのある素晴らしいコンクールになったと思います。コンクール開催期間中は、今回の目玉の一つであるインターネットによる映像配信とい

う重要な責任のある仕事を任せられ、緊張感の中にもやりがいのある活動でした。三年後に第2回が開催される予定ですが、今回の反省点を生かし更にグレードアップをしたコンクールとなるよう、そしてより多くの方が足を運んで下さるようボランティアとして支えていきたいです。（広報宣伝グループ（ネット配信）：新田利穂）

●世界各地を訪れているニコライさんも、ホームステイ経験はほとんどないとのこと。最初の頃は、ちょっと緊張気味でしたが、すぐに私たちに溶け込んでくれました。ニコライさんは普段のコンサートやコンクールでは地元の人たちと接する機会が無いそうで、彼にとって、我が家での8日間が日本・八王子を特別な国にしたことを私たちもうれしく思います。（ホームステイ受入家庭：大矢久美子）

編 集 集

「チェロ・コンへと続く道、通いなれた歩道に♪♪♪」今年の新年会でCCC仲間と歌ったのはコブクロの「桜」だった。第1号の林先生インタビューは桜満開の3月末日、そして今、最後の編集會議に冬空の下、落ち葉を踏んで事務所に向か

う。黄金色の銀杏並木に包まれたコンクール開催週間の夢のような記憶は、審査員の先生方と交わした握手の温もりや、若さ溢れる世界のチェリストたちのパッションとともに脳裏に焼きついて消去されはしない。また長い開催までの道のりのなか

後 記

で、綾織りされた人間連鎖の複雑な輪も・・・。そうだ！クリスマスソング流れる街に、かけがえのない仲間たちと歌いに行こう！「あなたへと続く道」

半年間、第1回カサド・コンクール情報誌「REQUIEBROS」をお届け

してきましたが、今回をもって最終号となります。第2回カサド・コンクール開催に向けて、本誌が再び皆さまのお手元に届くことを心より願っております。

（広報編集部 天野・岩濱・川井・小沼）

発 行 日 2007年1月1日（第4号）

発 行 元 ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール実行委員会

発行責任者 会長 杉本敦子

編 集 元 N P O 法人チェロ・コンサートコミュニティー広報部

お問い合わせ ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール実行委員会

〒192-0052 東京都八王子市本郷町4番3号

Tel. 042(625)2120 / Fax. 042(625)2430

Mail. info@cassado-cello.jp